

◎館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会第2回会議意見への事務局検討結果一覧

計画(案) ページ	ご意見	対応(案)
40.41	基本目標1～4に共通して、「基本的方向」がそれぞれ2つずつの項目で記載されているが、対象や方向が違う内容の文章が無理にまとめられており、違和感があるため、いくつかの文に分けてもよいと感じた。	これまでは2文に統一することを意識していたが、より分かりやすい文となるよう変更する。(項目数の統一性を不問とする)
40.41	基本的方向について、それぞれの文の先頭を「・、○」などではなく、番号を付したりアルファベットを付したりするとよいと思う。 また、その付した番号をどの施策と紐づいているか表現してもよいと思う。	表現を変更し、番号を付することとする。 (各ページの施策等との紐づけ(記載)は、基本的方向との関連付けは理解しやすくなるものの、数字が多く見にくい表記となることを避けるため今回は行わない)
40.49	基本目標1について、指標として「製造業」に絞られているが、絞らない方が分かりやすいのではないかと。	基本目標1における指標については、本市が重要な事業として進める「産業団地等の造成による企業誘致」の効果検証を行うため変更しないこととする。 なお、製造業以外も含めた「市内事業所数」・「市内従業者数」の指標については、具体的な施策の「産業の振興」分野に追加する。(「経済センサス活動調査」が出展となるため、5年に1回の把握となる)
40	基本目標1について、「税收や雇用面で魅力がある製造業等の企業」という記載があるが、他にも様々な魅力がある企業がある中で、製造業に絞った記載が気になったところである。	記載内容を変更する。
40.50	基本目標1について、「製造業」を強調した表現となっているが、アントレプレナー(創業)の観点もあるので、創業数などを指標として用いてもよいかと考える。	具体的な施策の「商業の活性化」分野において、「創業塾受講後に創業した件数」もKPIに設定するなど詳細に記載。 (バランスを考慮し「基本的方向」部分には追記しないこととする)
41.62.63	基本目標3について、「教育」に関する施策が非常に重要だと考えているが、教育については少ししか触れられていないので、教育環境をどう整備するかなど、計画文中に記載してもよいのではないかと。(探求活動等についても触れる)	具体的な施策の「より良い教育環境の整備」分野において教育環境整備の方向性や、探究活動等に詳細に記載。 (バランスを考慮し「基本的方向」部分には追記しないこととする)
41.61	基本目標3について、妊娠出産子育てと切り離せないのが労働環境だと思うので、計画文に加筆願いたい。	具体的な施策の「子育て支援の充実」分野に記載を追加する。
41.72	基本目標4について、「行政手続きのオンライン化に関する市民満足度」という指標があるが、「子どもからお年寄りまで誰もが生きがいを持って暮らせる地域をつくる」のであれば、お年寄りに向けてはオンライン化が果たしてどこまでその満足度に繋がるのか疑問があり、当該指標の設定は難しいと感じるがどうか。	本市においては、「DXの推進」を進め、市民の利便性の向上など、持続可能な行政運営を図っていくこととしており、指標については従前どおりとする。 なお、高齢者等へのデジタルデバインド(格差)の解消に向けて取り組む姿勢を具体的な施策の「持続可能な行政運営」分野に記載を追加する。
44.45	「重点的な取組」と「デジタルの力の活用例」のページの取組の記載について、重複している部分等もあり、施策等の階層性を含めて整理すべき。	施策等の階層性を含め表現の整理を行う。
56	「立地適正化計画」を適宜適切に見直していく姿勢を計画文に入れるべき。	具体的な施策の「まちのにぎわいの創出」分野に記載を追加する。
57	「移住に繋がる体験活動等を評価する指標」を追加するべき。	具体的な施策の「まちのにぎわいの創出」分野に指標を追加する。
57	「魅力発信に係る活動状況等を評価する指標」を追加するべき。	具体的な施策の「まちのにぎわいの創出」分野に指標を追加する。
61	自然減対策として、医療、特に館林厚生病院の充実、産科医院の増加などはぜひ触れてほしい。	具体的な施策の「子育て支援の充実」分野に記載を追加する。 ※上位計画の「総合計画」と同様の文章